



かとう みえこ  
加藤 美江子

こうめいとう きいんだん  
公明党議員団

## わが市の教育改革に必要なことは何か

**問** 今話題の映画「みんなの学校」から見えてくるもの。それは「学校はあるものではなく、つくるもの。学びの主体である子ども自らがつくる。保護者が自分の子どもの学校を自分がつくる。地域の人や、地域の宝が学ぶ地域の学校をつくる。教職員が、自分の働く学校を自分がつくる」という理念であるが、わが市の教育改革に必要なことは何か。

**答** この映画で一番大事なことは、特別支援の対象の子どもだけでなく、全ての子どもをどう理解するのかということである。現在、作成しているマニュアルに、特別支援教育の項目を入れ、現場の教員も参加し、子どもの心理を理解するためしっかりと勉強するとともに、具体的な言葉掛け、アプローチ、指導などについて、どのような工夫を行えばいいか、議論しているところである。

また、何か課題が起こったときに、まずは担任が担任の力で子どもたちを支えていく、クラスで起こった問題を同じ学校の教員間で共有していく、学校で働く全ての職員が一緒になって話ができる風土をつくっていく、といった改革を進めていけるよう取り組んでいく。

## ●その他の質疑・質問●

- 学校で「食品ロス」教育を
- 「障害者差別解消法」から
  - 障がい者の方の社会参画を後押しするため、庁舎での物品販売の実施は
- 防災の取り組みについて
  - 避難所となる施設に「特設公衆電話」の事前の回線設置を
  - 全避難所での実地訓練を
  - 各家庭の防災備蓄品の設置状況は



▲映画「みんなの学校」の元になった本



いわ わき けい いち  
岩 脇 圭 一

いっ しん かい  
一 津 会

## 津市健康づくり計画の方向性は

**問** 第2次健康づくり計画は今年度が最終年度となるが、どのような成果があったのか。また、今年度中に策定される第3次計画の方向性は。さらに、伊勢志摩サミットに際し、県と4市町が受動喫煙ゼロ宣言を行ったが、津市の受動喫煙に対する取り組み状況は。また、国は東京オリンピックに向け、法制化も含め対策強化を検討しているが、津市の方向性は。

**答** 第3次計画策定のためのアンケート調査を実施した。その中で、第2次計画の数値目標に関連した食事、運動、喫煙等の生活習慣を中心とした質問に対する回答は、分析中ではあるが、おおむね改善傾向にある内容となっている。

第3次計画では、食生活・栄養、生活習慣病・がん等10の分野ごとに対象者や地域を限定した取り組み内容を行動計画に具体的に示していきたい。

受動喫煙に対する取り組みとして、毎年、世界禁煙デーに合わせた駅での街頭啓発や広報紙等への掲載などを行っている。また、対策強化として、喫煙者の立場も考えながら、子どもや妊婦の受動喫煙防止や喫煙者の禁煙指導等を第3次計画に盛り込んでいきたいと考えている。

## ●その他の質疑・質問●

- 貧困対策と保健について
  - 貧困状況にある子どもと親の健康について
  - 健康格差の縮小に向けて
- 災害対策について
  - 南海トラフ周辺のひずみ分布実測調査結果について
  - 被災建築物応急危険度判定について
  - 熊本地震災害派遣から分かったこと



▲5月31日の世界禁煙デーの啓発のぼり